

<英語語法マスター⑪> 名詞の語法①

1 覚えておくべき不可算名詞

以下に挙げる名詞は常に不可算名詞で、a・anを付けることも複数形になることもない!

→ 数えたいときは () や () などを使う!

| | |
|-----|---|
| 最頻出 | ① () 「忠告」 / ② () 「手荷物」(米) |
| | ③ () 「家具」 / ④ () 「情報」 |
| | ⑤ () 「宿題」 / ⑥ () 「知識」 |
| | ⑦ () 「手荷物」(英) / ⑧ () 「知らせ」 |
| | ⑨ () 「仕事」 ← 「」の意味なら可算名詞! |
| 頻出 | ⑩ () 「損害」 / ⑪ () 「証拠」 / ⑫ () 「楽しみ」 |
| | ⑬ () 「害・損害」 / ⑭ () 「家事」 / ⑮ () 「紙」 |
| | ⑯ () 「進歩」 / ⑰ () 「交通(量)」 / ⑱ () 「天候」 |
| 発展 | ⑲ () 「装備」 / ⑳ () 「宝石(類)」 ← () は可算 |
| | ㉑ () 「機械」 ← () は可算 / ㉒ () 「郵便物」 |
| | ㉓ () 「詩」 ← () は可算 / ㉔ () 「文房具」 |

(例) Each room has five pieces of furniture. 「各部屋には家具が5点ずつある」
 (X) Each room has five furnitures.

☆ 形容詞がついても (/) はつかない!

(例) She has made rapid progress in English. 「彼女は英語の力が急速に進歩した」
 (X) She has made a rapid progress in English.

☆ () は形容詞がつけば、(/) がつく!

(例) He has a good knowledge of Japan. 「彼は日本のことをよく知っている」

※ () ・ () ・ () ・ () も形容詞がつくと (/) が必要!

(例) a delicious lunch

2 不可算名詞 roomの用法

不可算名詞の room は「 / / 」の意味を表す。

• () 「

There is still room for improvement. 「改善の余地がまだある。」

• () 「
≡ ()

There is no room for doubt about his guilt. 「彼の有罪は
= His guilt leaves no room for doubt. 疑いの余地がない。」

• () 「

Will you make room for me? 「私に場所を空けてくれませんか」
→ 「少し詰めてくれませんか」

3 常に複数形を用いる表現

< friend タイプ >

① () 「友人」 () 「

② () 「間柄」 () 「

friend が複数になるのは交友には **相手が必要** だからで、term の方は「間柄」の意では常に terms という形で用いる。

○ I am great friends with him. 「私は彼と大の仲良しだ。」

× I am great friend with him.

< shake hands タイプ >

① () 「握手する」 / ② () 「乗り換える」

③ () 「席をとり換える」

④ () 「交代で〜する」

上記の句はそれぞれ相手が必要なので **複数形** をとる!

You must change trains at this station. 「この駅で **乗り換え** ねばならない」